

大型空き店舗の1フロアを活用し、市民が気軽に集える場、健康相談や情報収集の場等多目的に利用できる交流施設を設置。

宮崎商工会議所

| | | | |
|--------------------|----------------|----------|-------------------|
| 機関名 | 宮崎商工会議所 | | |
| 所在地 | 宮崎県宮崎市橘東1-8-11 | | |
| 電話番号 | 0985-22-2161 | | |
| 地域概要 | (1)管内人口 | 308千人 | (2)管内商店街数 21商店街 |
| 事業の対象となる 商店街の概要 | (1)商店街数 | 4商店街 | (2)会員数 225商店 |
| | (3)空店舗率 | 11.5% | (4)大型店空き店舗数 0 |
| | 若草通り商店街他3商店街 | | |
| 商店街の類型 | 1.超広域型商店街 | 2.広域型商店街 | 3.地域型商店街 4.近隣型商店街 |

【事業名と実施年度】

| | | |
|--------|--------------------|---|
| 平成16年度 | コミュニティ施設活用事業（複合施設） | ・コミュニティスペース「ガガエイト」の運営（子供一時預かり、各種貸しスペース、イベント開催等） |
| 総事業費 | 82,110千円 | |

【事業実施内容】

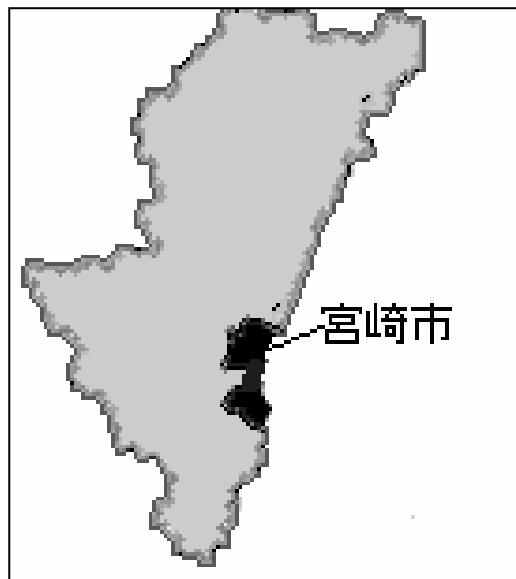
1. 背景

宮崎市は九州の東南部太平洋岸に位置し、年間平均気温18.2度と温暖な気候に恵まれ、国定公園日南海岸に続く「宮崎・日南海岸リゾート構想」は、昭和63年にリゾート法の第一号の承認を受け観光振興に力を入れてきた。

毎年、県内外から多くの観光客が訪れていたが、不況の影響から平成11年に約687万人であった観光入込み数が、平成15年には471万人にまで減少してしまった。

宮崎市の中心市街地は、県都として県内全域から訪れる多くの買い物客で賑わっていたが、郊外への大型店出店等により空洞化が進み、空き店舗が目立ってきた。

平成10年12月に中心市街地活性化基本計画を策定した。以降、中心市街地の賑わい再生、そして来街者の利便性向上、地域コミュニティの形成を図るために、数多くの事業を実施してきた。



宮崎市の位置（宮崎市HPより加工）

これら事業のうち、経済産業省の商店街等活性化支援事業を活用し実施した事業は、以下のとおりである。

<空き店舗対策事業、活性化対策事業>

| 実施年度 | 事業名 | | |
|---------|-------------|------------------------------|--------------|
| 平成 12 年 | チャレンジショップ事業 | 多機能カードシステム導入 (クレジット、デビット) | — |
| 平成 13 年 | チャレンジショップ事業 | 多機能カードシステム導入 (IC、ポイント) | まちなか情報拠点整備事業 |

<コミュニティ施設活用事業>

| 実施年度 | 事業名 | | |
|---------|--------------------------|-------------------------------|-----------|
| 平成 14 年 | まちなかプレイパーク | — | — |
| 平成 15 年 | まちなかプレイパーク まちなかキッズルーム | コミュニティースペース 「gaga8（ガガエイト）」 | レンタサイクル事業 |
| 平成 16 年 | まちなかプレイパーク まちなかキッズルーム | コミュニティースペース 「gaga8（ガガエイト）」 | レンタサイクル事業 |

*以下、平成 16 年度実施の「コミュニティースペース ガガエイト事業」について報告する。

2. 事業内容

中心市街地に立地する大型空き店舗施設（旧壽屋宮崎店）に地元商業者等がテナント入居し「カリーノ宮崎」としてリニューアルオープンした。うち、空きフロアであった 8 階を利用し“ガガエイト”的名称で各種コミュニティースペースとして活用して、市民が気軽に集い憩える場所、活動の場、また高齢者をはじめとして親子、子供が交流できる場を提供し、賑わいの創出および新たなコミュニティの形成を図るものである。

（これまでの経緯）

- ・平成 14 年 2 月 1 日 壽屋宮崎店 撤退
- ・平成 15 年 3 月 14 日 「カリーノ宮崎」リニューアルオープン
- ・平成 15 年 10 月 25 日～ 8 階フロア「ガガエイト」オープン

（1）ガガエイトの施設概要

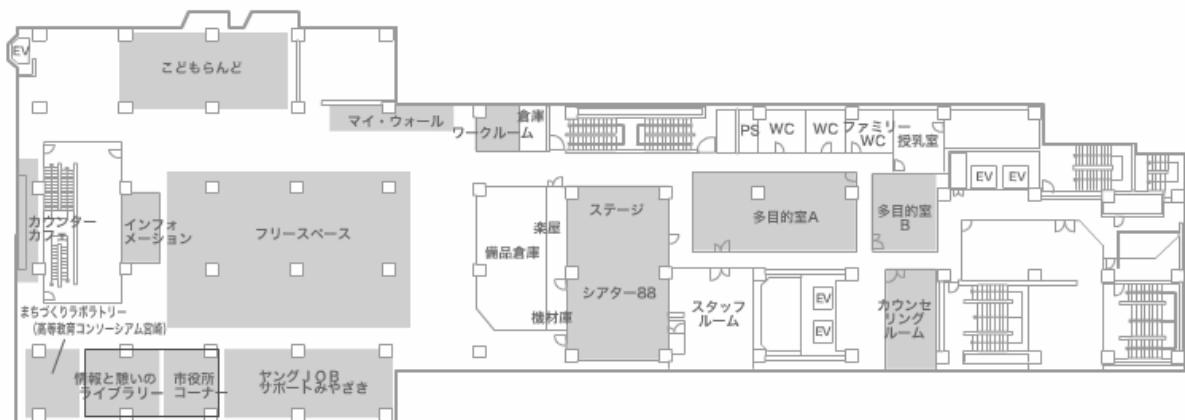
設置施設は次ページの通りである。各施設は一部（カウンターカフェ、情報と憩いのライブラリー、カウンセリングルーム）を除いて有料で貸し出した。

“こどもらんど”的運営及び、フリースペースを利用したキッズカフェ、キッズフリーマーケットといった子供向けの催しで賑わう年 10 回のイベント「キッズ・ワンディ・マーケット」の運営は NPO 法人ドロップインセンターに委託した。その他のスペースは、インフォメーションにスタッフを常駐させ管理運営を行った。

「ガガエイト内の施設」

| 設置施設 | 広さ(m ²) | 用途及び平成16年度の実施内容 |
|---------------------|---------------------|---|
| インフォメーション | 34.61 | 利用方法やイベント、使用状況について案内し、スペースの貸し出し管理等の運営を行う。 |
| こどもらんど (旧キッズルーム) | 91.92 | 子供の一時預かり、遊びの場、読み聞かせ、人形劇などのイベントや子供同士、親同士の情報交換の場として設置。 |
| フリースペース | 359.85 | 市民の団体の各種展示会、発表会等の貸しスペース。 例) リフォームフェア、池坊華展、長寿ふれあい作品展 |
| シアター88 | 126.26 | 座席80席。市民の軽音楽の発表の場、演劇等の練習、講演会などの貸しスペース。 例) 市民シンポジウム、粉川さんと楽しく落語、演劇 |
| 情報と憩いのライブラリー | 150.02 | インターネットによる情報検索、市民からのITに関する質問応対、雑誌・新聞を配し、憩いの場として活用。 |
| まちづくりラボラトリー | 38.38 | 宮崎大学に貸出し。サテライトキャンパスとして活用。公開講座・セミナー、研究発表、まちなかゼミ、県と連携したコンソーシアム事業等を実施。 |
| 多目的室A | 89.36 | 60名収容。会議・研修の場等の貸しスペース。 例) ベビーシッター養成講座、まちかど体験塾 |
| 多目的室B | 36.82 | 24名収容。会議・研修の場等の貸しスペース。 例) ママパパライン受け手研修、親子手作り体験教室 |
| カウンセリングルーム | 40.30 | 健康相談、育児、DV、人権等の相談サービスを提供。 |
| 市役所コーナー | 27.03 | 市役所コーナーとして、街頭端末を設置して宮崎市の情報を収集できるスペース。 |
| マイ・ウォール | 西側壁面 | 壁面を利用した個人の作品を展示できるスペース。 例) パステル絵画展 |
| カウンターカフェ | 31.85 | 窓側にカウンターを設置し、くつろいでもらうスペース。 |

「ガガエイトの見取り図」



「施設内部の様子（こどもらんど、まちづくりラボラトリー、情報と憩いのライブラリー」



(2) ガガエイトの利用実績

平成 16 年度の利用者数及び、有料施設の収入実績は次の通りである。(15 年度対比)

| 設置施設 | 平成 15 年度 (10 月～翌 3 月) | | 平成 16 年度 (4 月～翌 3 月) | |
|----------------|-----------------------|---------|----------------------|-----------|
| | 利用者数(人) | 収入(円) | 利用者数(人) | 収入(円) |
| こどもらんど (一時預かり) | 146 | 100,000 | 1,126 | 738,000 |
| こどもらんど(ドロップイン) | 3,797 | — | 9,398 | — |
| キッズカフェ | — | — | — | 277,320 |
| フリースペース・ワークルーム | 13,068 | 88,000 | 37,326 | 1,352,090 |
| シアター88 | 1,861 | 63,200 | 5,490 | 301,520 |
| 情報と憩いのライブラリー | 2,987 | — | 71,110 | — |
| まちづくりラボ | 309 | — | 3,191 | 404,800 |
| 多目的室A | 2,347 | 63,300 | 7,230 | 587,580 |
| 多目的室B | 1,020 | 31,500 | 3,692 | 368,240 |
| カウンセリングルーム | 159 | — | 1,114 | — |
| マイ・ウォール | — | — | 7 | 3,500 |
| 他 (パソコン教室、備品等) | — | 1,800 | — | 350,070 |
| 合計 | 25,694 | 347,800 | 75,677 | 4,383,120 |
| 月平均 | 4,826 | 57,967 | 6,306 | 365,260 |

【 効 果 】

1. 来街者の行動

中心市街地のコミュニティスペースとして、多様な使い方が可能な同施設は、利用者数が順調に伸びており、賑わいの創出および新たなコミュニティの形成を図ることができた。

2. 近隣商店街、個店への波及

年間 5 回実施した利用者アンケート調査から、ガガエイト利用者の約 8 割がカリーノ宮崎内や周辺の商店街、デパートを利用するという結果が得られた。このことからガガエイトが中心市街地への来街者を増加させ、周辺商店街の回遊性の向上、来街者の中心市街地の滞留時間の延長等により、商店街の活性化におおいに貢献していると思われる。

【課題・反省点】

・PR

予算の関係上、大々的なPR活動はできないが、今後はホームページの充実や地元新聞社へイベント広告の継続的掲載、地元商店街のイベントの広告協賛等で認知度を高めていくたい。

【事業の実施ポイント】

本事業は、市民のためのコミュニティースペースであるため、中心市街地において子供から高齢者までいかに便利で楽しめる機能を持たせるか、利用者の側に立った企画運営が大切である。そのためには、TMOが主となり地域社会との連携強化を図る必要がある。

当TMOでは現在、行政、学識経験者、学生、市民代表、NPO法人等との連携のもと、年6回程度の運営委員会を開催するとともに、継続的に実施している利用者アンケート結果等を参考に、改善案や利用促進策を検討している。

【関連URL】

宮崎商工会議所 <http://www.miyazaki-cci.or.jp/miyazaki/>

ガガエイト <http://www.gaga8.com/>